

令和3年度シラバス

言語聴覚士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
言語発達障害演習Ⅱ		講義・演習	西田 和子・中尾 繁樹	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
60 時間（2 単位）		30 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
2グループに分かれ、様々な発達障害の事例について、ビデオ観察による検査や行動観察から総合的に評価し、目標設定と具体的な指導方法について理解する。また、グループワークで、実際にケースの子どもにかかわり、指導の立案、教材作成等を行い、学んだ知識をどのように評価や訓練に活かすのか体験し理解を深める。その後、ことばかけや遊びの適切性について話し合い、フィードバックを行う。				
授業の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 検査・行動観察・情報収集から実態把握ができる。 2. 幼児期から学童期の評価、指導について理解し、目標設定ができる。 3. 目標設定し、教材を作成する。 4. 実際のかかわりから評価、支援のあり方を知り具体的な遊びやことばかけについて理解を深める。 				
授業計画				
回	内容		回	内容
1	オリエンテーション		16	課題5 事例B アセスメント K
2	健常児の発達 課題1（発達障害まとめ）		17	指導の展開⑤
3	事例A 行動観察 Y		18	指導の展開⑥
4	課題2 行動観察 Y		19	課題5 事例B アセスメントFB K
5	指導の展開①		20	課題6 教材 K
6	指導の展開②		21	保育遊び
7	課題2 行動観察FB Y		22	保育遊び
8	課題3 総合所見 Y		23	課題6 教材発表 K
9	指導の展開③		24	課題6 教材FB K
10	指導の展開④		25	小児グループワーク全体FB(発表)
11	課題3 総合所見FB Y		26	小児グループワーク全体FB(発表)
12	課題4 報告書 Y		27	小児グループワーク（かかわりの実際 FB）1
13	WISC-IV 分析～解釈		28	小児グループワーク（かかわりの実際 FB）2
14	WISC-IV 分析～解釈		29	感覚統合の訓練（中尾）
15	課題4 報告書FB Y		30	感覚統合の訓練（中尾）
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート	60%			
小テスト				
平常点	20%	レポート提出 話し合いの参加 出席率		
その他	20%	グループワーク（かかわり）		
自由記載	各レポートで基準に満たない場合は、再提出がある。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
言語聴覚士のための言語発達障害学 第2版	石田宏代・大石敬子 編		医歯薬出版	
標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第2版	玉井ふみ 編		医学書院	
発達がわかれば子供が見えるー0歳から就学までの目からウロコの保育実践	田中真介 監修		ぎょうせい	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				